

平成 26 年 12 月 23 日

女子強化委員会

委員長 栄和人

《リオ・デ・ジャネイロ五輪選考方法について・女子》

■2015 年 9 月世界選手権大会にて

- ① 代表選手がメダル（出場枠）を獲得した場合
→2015 年 12 月天皇杯に出場した時点で内定する。（計量のみは不可）
- ② 代表選手がメダル獲得なしで出場枠のみ獲得した場合
 - （1）代表選手が 2015 年 12 月天皇杯で優勝したら内定する。
 - （2）代表選手と 2015 年 12 月天皇杯優勝者が異なった場合、
この 2 選手から女子強化委員会で選手を選考する。

- ③ 代表選手が出場枠を獲得できなかった場合
2015 天皇杯優勝者に 2016 アジア大陸予選の出場権利を与える。

■2016 アジア大陸予選にて

- ④ 代表選手が出場枠を獲得した場合、
2015 年世界代表選手とアジア大陸予選代表選手から五輪代表選手を女子強化委員会で選考する。
- ⑤ 代表選手が出場枠を獲得できなかった場合
五輪トライアル大会に派遣する選手は、状況を判断し、女子強化委員会で選考する。

■2016 五輪トライアル大会にて

- ⑥ トライアル大会で代表枠を獲得した場合、
トライアル大会はレベルが下がるため、世界代表、アジア大陸予選代表も含め、女子強化委員会で選考する。

《2015 年世界選手権大会代表選手について》

1. 今年同様に、2014 天皇杯と 2015 明治杯の試合結果と内容を参考に、女子強化委員会が代表選手を選考する。
2. 特に、オリンピック非階級 55kg 級と 60kg 級については、前後階級のメダル獲得者の試合結果と内容を参考に、女子強化委員会が代表選手を選考する。